

加工・業務用タマネギの品種は「ボルト」、「スパート」が梅雨前に収穫可能で有望

「ボルト」、「スパート」は抽苔率が低く、貯蔵性に優れ、9月上旬から中旬の播種で梅雨入りの5月中旬までに収穫可能

背景・目的

- ・加工・業務用タマネギの需要が増加
- ・収穫期が梅雨にかかると腐敗株が増加するため、梅雨入り前の収穫が必要
- ・抽苔率が低く、収量性、貯蔵性に優れる品種への強い要望
- ・鹿児島県での栽培に適した播種期の検討、有望品種の選定

成果の内容

- ・9月上旬から中旬の播種で、梅雨入り前の5月中旬までに収穫が可能
- ・「ボルト」、「スパート」の抽苔率は他品種に比べて低い
- ・「ボルト」、「スパート」は、既存品種「秀玉丸」と比べて加工用出荷収量が同等、貯蔵中の腐敗発生が少なく貯蔵性に優れる

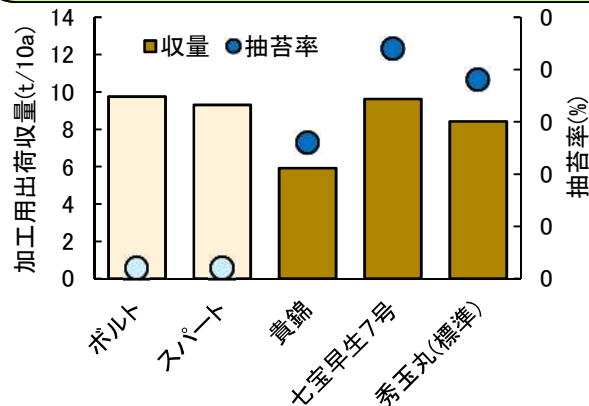


図1 加工用規格収量と抽苔率

注)加工用規格収量と抽苔率は9月上旬播種におけるR3, R4年度の2か年平均

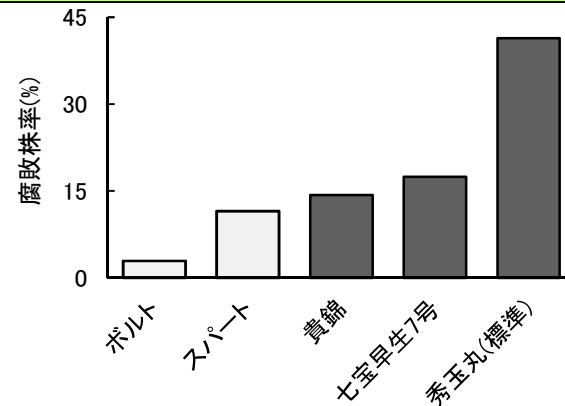


図2 貯蔵中の腐敗株率

注1)9月上旬, 中旬播種におけるR3, R4年度の2か年平均
2)調査日: R4年7月20日 (R3年度), R5年7月12日 (R4年度)

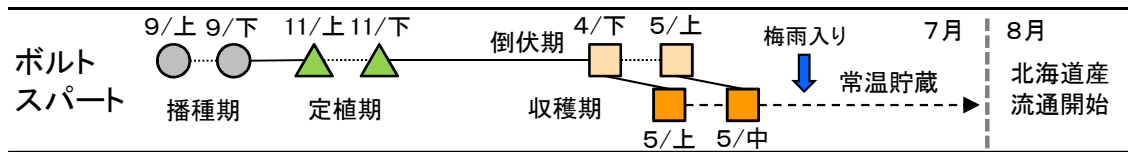


図3 「ボルト」、「スパート」の播種から貯蔵までの流れ

期待される効果

- 梅雨入り前に収穫可能な播種期
- 抽苔率が低く、貯蔵性に優れる「ボルト」と「スパート」の導入



加工・業務用タマネギの生産安定

収益性の向上

- 普及対象・範囲

加工・業務用タマネギ生産者

鹿児島県農業開発総合センター
大隅支場園芸作物研究室